

出版記念トーク & スライド上映

「ホロコーストの記憶」を歩く

過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド

石岡史子、岡裕人著
(子どもの未来社刊)

ヨーロッパの街を歩くと、道端や公園、旅行者が行き交うにぎやかな観光名所のとなりで、現代アートと見間違うような、様々なホロコーストの記念碑に出会います。負の歴史に向き合うことは、悲しく苦しいけれど、「こんなふうに記憶することができるんだ」と新しい発見がたくさんあります。

ドイツがナチ時代の歴史と向き合ってきたことはよく知られています。でも、それは、ただ過去を忘れないだけでなく、市民のイニシアティブで、歴史を様々なカタチで表現し、伝え、社会で共有して、そこから、自由と民主主義を尊重する、より良い社会をつくりだそうという挑戦。本書では、それらの「記憶のカタチ」が街中に点在するベルリンを紹介しました。「アンネの隠れ家」で有名なアムステルダムもとりあげました。近年あたらしい記念碑が次々とつくられています。

下記のとおり、出版記念の会を開催し、スライド写真で本書をご紹介します。閉塞感のたゞよう日本の社会にもヒントがあるのではないかと考えております。多くの方々にご参加いただきたく、広く周知のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 日時：2016年6月26日(日) 午後2時半-4時

■ 場所：四谷地域センター12階 多目的ホール

東京都新宿区内藤町87番地(丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩5分)

■ 登壇者：石岡史子(NPO 法人ホロコースト教育資料センター代表)

■ 対象：高校生以上、どなたでも ■ 定員：100名(先着順) ■ 参加費：500円

■ 参加申込：ホームページから受付中 <http://www.npokokoro.com>

2016年6月下旬発売「ホロコーストの記憶」を歩く～過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド



【目次より】

- Chapter 1 アートで記憶する街ベルリンをめぐる
Chapter 2 アンネ・フランクの足跡をたずねる
Chapter 3 海を越えて日本にたどりついた記憶にであう
Chapter 4 著者対談：私たちは今、
「ホロコーストの記憶」から何を学ぶのか？

【発行】 子どもの未来社
【定価】 1,200円+税

【著者】

石岡史子 NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro) 代表。世界の40ヶ国で翻訳されている『ハンナのかばん』の登場人物・訳者。「ホロコースト」を教材にして命と人権を学ぶ出張授業を国内外1000校で行ってきた。

岡裕人 フランクフルト日本人国際学校事務局長、歴史研究者。ドイツ在住27年。著書に『忘却に抵抗するドイツ 歴史教育から「記憶の文化」へ』(大月書店)、共著に『世界の歴史教育』(ゲオルク・エッカート研究所編、ドイツ語)

お問い合わせは、NPO 法人ホロコースト教育資料センター(石岡)までお願いします。

TEL: 090-4072-4402 / 03-5363-4808 Email: holocaust@tokyo.email.ne.jp

子どもの未来社 代表 奥川隆 TEL: 03-3830-0027